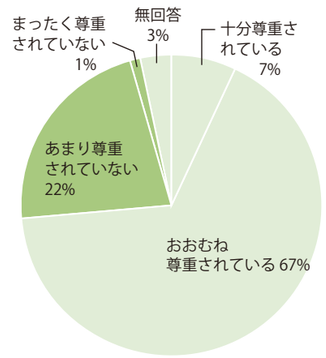
24年度内子町人権意識調査

人権のこと、どう考えていますか

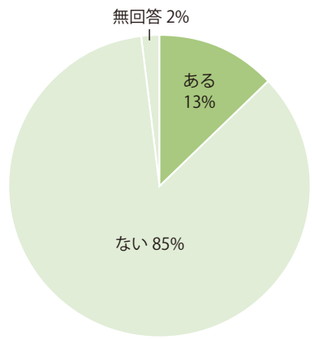
内子町は同和問題を中心とした人権意識を把握するため、6月18～7月31日にかけて郵送によるアンケート調査を行いました。対象は町内在住の20～79歳の男女・計1200人。有効回答数は515人（男性228人、女性279人、無回答8人）、回収率は42・9パーセントで、前回（21年度）調査時の回収率46・8パーセントをやや下回りました。主な調査結果をお知らせします。

人権意識と人権侵害の実態

問）今の日本は人権が尊重されている社会だと思いますか。

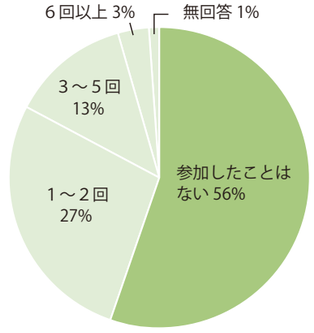


問）最近（過去３年程度）、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



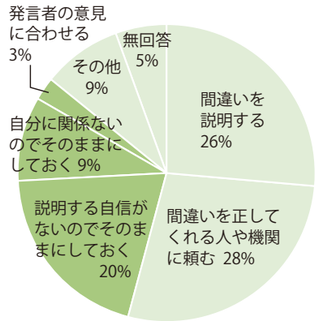
研修会・学習会への参加状況

問）最近（過去３年程度）同和問題をはじめ人権問題に関わる研修会などに何回くらい参加しましたか。



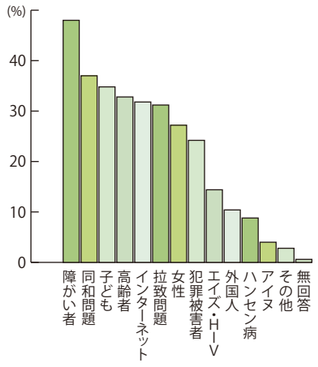
同和問題や慣習・迷信に関する意識

問）もしも家庭や地域などで同和問題について差別的な言動や話がでたら、あなたならどうしますか。



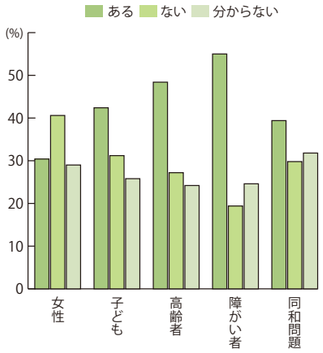
人権問題への関心度

問）さまざまな人権問題の中で、どのような問題に関心がありますか。

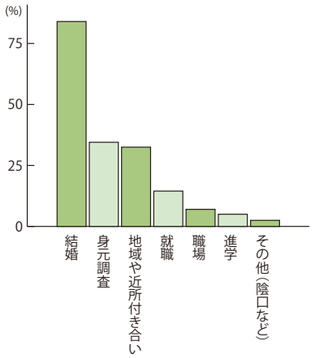


身近なところにおける人権侵害の認知

問）自分の家庭や職場・地域などの身近なところで、次のような人権侵害があると思いますか。

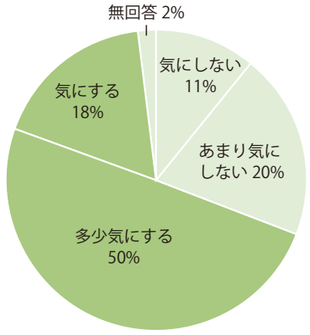


問）被差別部落の人に対する人権侵害が「あると思う」と答えた人へ。それはどんな人権侵害ですか。

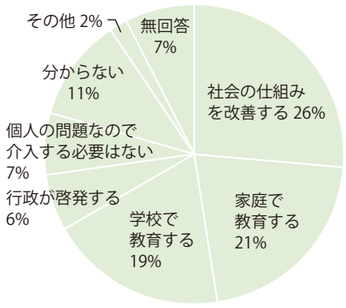


人権問題に対する取り組みに関する意識

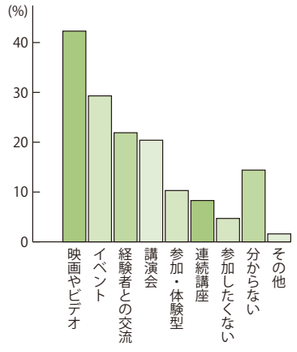
問）あなたは「大安」「仏滅」「友引」などを気にしますか。



問）町民の人権意識を高め人権問題を解決していくため、町でどんな取り組みをすべきだと思いますか。



問）人権問題に関する学習会や啓発活動にあなたが参加するとしたら、どのようなものが良いですか。



●**みんなで考えよう**

アンケートでは、前回の調査に比べて、「今の日本は人権が尊重されている」または「おおむね尊重されている」と回答した人がやや増加し、「最近、人権が侵害されたと思ったことがある」と回答した人は減少しました。

一方で、人権問題に関する学習会などへの参加者の減少傾向は進んでいます。過去3年程度の間に一度も「参加したことがない」という人は約56％。特に20代では8割を超え、その理由の多くが「知らなかった」というものでした。今後の対策が必要です。

また「人権は個人の意識の問題なのでそんなに教育しなくても良い」「同和問題などは過去の問題だから、そっとしておけば自然になくなる」などの意見もありましたが、「個人の意識には温度差があるが、違いを認め合える、自分も相手も大切にする社会でありたい」「正しい理解と人権感覚を育てる教育は、いつの時代もずっと必要」など、人権・同和教育の推進に積極的な意見も数多くありました。

「すべての人の人権が尊重され、差別のない明るく心豊かなまちづくり」を目指して、みんなで共に考えることから始めましょう。

●**人権学習会に参加しよう**

町内では、それぞれの地域で人権学習会などが開かれています。ぜひご参加ください。

▽12月8日（土）
明日へつなぐ「人の輪集会」（天神小・五十崎中合同）
▽12月9日（日）
大瀬地区人権まつり（大瀬）
▽1月16日（水）
あけぼの人権学習会（あけぼの集会所）
▽1月27日（日）
人権・同和教育参観日（五十崎小）

※各自治会でも「地域ぐるみ人権学習会」などが開かれています。

【問い合わせ】
内子町教育委員会（内子分庁内）
自治・学習課　生涯学習係
☎0893（44）2114